

こしがや市議会だより

harmony

ハーモニー

No.223

令和6年(2024年)

2月1日

発行 越谷市議会
編集 広報・図書室協議会
☎963-9261(直通) ☎966-6006



こどもの健康増進、安心して子育てできる環境へ こども医療費の支給を 15歳から18歳まで拡大

— こども医療費支給に関する条例の一部を 改正する条例制定を可決 —

- ◇主な議案の内容 …………… ②③
- ◇審議結果 …………… ③
- ◇常任委員会の審査 …………… ④⑤
- ◇市政に対する一般質問 …… ⑥⑦
- ◇市議会からのお知らせ …… ⑧

12月定例会の概要

令和5年12月定例会は、12月1日から20日までの20日間にわたり開催しました。

本定例会では、「越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について」など、35件の市長提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、議会運営委員会から提出された「越谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について」は、全員一致で可決しました。

(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

令和6年能登半島地震で被災された 方々に心よりお見舞い申し上げます

去る1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興と、平穏な日常を取り戻せるよう、心からお祈り申し上げます。

本市議会では、1月24日に代表者会を開催し、全国市議会議長会を通じ、被災地に義援金30万円を送金いたしました。この度の災害を教訓とし、市民の皆様生命と財産を守るため、今後も取り組んでまいります。

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください)

表紙の写真「飛来」

撮影者 上野 優華 様 (袋山在住)

撮影場所 元荒川河川敷 (令和4年(2022年)12月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。



市長提出議案

越谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、個人番号を利用することができる事務を定めること等に伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。

改正の主な内容は、本市が独自に個人番号を利用することができる事務として、新たに「こども医療費支給に関する事務」を定めるとともに、当該事務を処理するために市が保有する特定個人情報情報を庁内において連携して利用できることとするもので、令和6年10月1日から施行します。

▶反対討論

▷ マイナ保険証は誤登録や医療機関での窓口の混乱など多くの問題が解決されていない。市民感情を考えるならば、独自利用の拡大を行うべきでないことから、本議案に反対する。
▷ 本条例は、健康保険証の全面廃止に沿ったものだが、さまざまな問題点を抱える中での保険証廃止は撤回すべきであり、市民に禍根を残すことを危惧し、本議案に反対する。

越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、行政需要の高まりや喫緊の課題に対応するとともに、子育て世帯等への支援体制の充実、市立病院の経営改善、救急体制の強化等により、さらなる市民サービスの向上を図るべく、職員定数を変更する必要があるため、提案されました。

改正の内容は、計42人の増員で、その内訳は、市長部局の職員定数については、越谷市立病院における11人の増員を含め、31人の増員、消防局については9人の増員、教育委員会については2人の増員を行うものです。

本条例は令和6年4月1日から施行します。

▶議案質疑

問 今回の定数増は業務の見直しや職員の人員配置などを十分に検討し尽くした上でのものか。

答 令和6年度における定数調整については、関係各部署からの161人増の増員要望に対して、事業課とのヒアリングを通じて既存業務の見直し、民間委託やITの活用、会計年度任用職員の配置などを検討した上で、常勤職員による対応が必要なものを十分に精査し、人員の調整を行ったものである。

▶反対討論

▷ 一度に42名を増やすのではなく、数年に分けて社会動向を見ながら増やしていくべきと考え、本議案に反対する。
▷ 市長自身が、本市の人口増加が見込まれず、今後の市税収入の見通しが不透明であると明確に答弁される中で、全体として経営努力が不足していると言わざるを得ず、本議案に反対する。
▷ 川越市と比較すると、本市は人口1万人当たりの職員数が多く、必死に、そして全庁

的に行政の効率化、スリム化等の行政改革を行ってきた事実が見受けられない。また、民間委託等の手法による組織改革によって職員数は抑制できると考え、本議案に反対する。
▷ ふるさと納税体制の強化および教育委員会事務局の増員については、外部委託の取り組みを先に進めるべきである。また、市立病院の増員による経営改善の効果については根拠に乏しいと考え、本議案に反対する。

▶賛成討論

▷ 増員にあたっては、民間委託やITの活用など、増員によらない方策についても十分に検討し、適正な業務執行体制を整備したと理解し、本議案に賛成する。
▷ 人口減少や財政状況などを理由に、複雑多様化する市民ニーズに対して、市民サービスを削ることはできない。職員を増員し、住民の福祉の向上を図ることこそ必要と考え、本議案に賛成する。
▷ 社会構造の変化に伴い、市民が抱える困難さは、質・量的に大きく変わった中で、むしろ有能な職員の配置、拡大が求められていると考え、本議案に賛成する。

- ・越谷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・越谷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・越谷市常勤監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、期末手当に関する規定を整備するため、提案されました。令和5年12月期の支給割合を「100分の220」から「100分の230」に改め、公布の日から施行し、令和5年12月1日から適用します。

また、令和6年度以降は、6月期の支給割合を「100分の220」から「100分の225」に、12月期の支給割合を「100分の230」から「100分の225」に改め、令和6年4月1日から施行します。

※4議案に対する質疑と討論がありました

▶議案質疑

問 地方公務員法が適用されない議員や特別職にも人事院勧告を準拠させる根拠は。

答 国と同様の取り扱いであり、本市の特別職は一般職を束ねる立場にあることから一般職に準ずる対応とすることとしてきたもので、一定の合理性があるものと判断している。

▶反対討論

▷ 人事院勧告は、公務員が民間企業のように労使交渉で給与を決定できないその代償措置として設けられた一般職のための制度である。特別職について人事院勧告による一般職の改定を準用することは、民間感覚とかけ離れていると言わざるを得ず、本議案に反対する。
▷ 埼玉県内で3市、中核市で7市が期末手当を引き上げない。既に十分な報酬を受け取っていると見なされている特別職の報酬引き上げは、経済社会情勢からも、住民の理解は得られないと考え、本議案に反対する。

越谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、一般職の国家公務員の給与の改

正等に伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。改正の主な内容は、若年層が在職する号給に重点を置き、給料表の改定を行うもので、公布の日から施行し、令和5年4月1日から適用します。また、令和5年12月期の期末手当および勤勉手当の支給割合を変更するもので、期末手当にあっては「100分の120」から「100分の125」に、勤勉手当にあっては「100分の100」から「100分の105」に改め、公布の日から施行し、令和5年12月1日から適用します。

さらに、令和6年度以降については、6月期、12月期ともに、期末手当にあっては、「100分の122.5」に、勤勉手当にあっては、「100分の102.5」に改め、令和6年4月1日から施行します。

▶議案質疑

問 人事院勧告は民間の実態を表しているという認識か。

答 人事院勧告は、広く民間事業所の給与の実態を反映したものであると認識しており、県内40市が同様の取り扱いとなっている。

▶反対討論

▷ 日本の企業の9割弱は20人以下の小規模企業で、そこで働く従業員は全従業員の4分の1と言われているが、これらは人事院勧告の調査対象となっていない。このように民間企業の平均とは言えない人事院勧告を準拠しての改正であるため、本議案に反対する。

越谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、国民健康保険事業の安定した運営に資するため、国民健康保険税の課税額の改定等を行う必要があるため提案されました。

本条例は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度以後の年度分から適用します。

▶反対討論

▷ 命と暮らしを圧迫する政治を国や県が行うならば、その悪政から市民の命、暮らしを守ることこそ、地方自治体が行うべき仕事である。住民の理解を得られない、国保税の値上げは許すことができず、本議案に反対する。

越谷市こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、医療費の支給範囲を拡大し、もってこどもの保健の増進を図るため、提案されました。こども医療費は、誰もが安心して医療機関で受診でき、早期治療により疾病の重篤化を防ぐなど、こどもの健康増進はもとより、安心して子育てができる環境づくりを進める上で大きな役割を果たしており、このたび、こども医療費の支給対象年齢を現行の「15歳」から「18歳」に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大し、一層の子育て支援を図るものです。

本条例は令和6年4月1日から施行します。

▶賛成討論

▷ 少子化対策、子育て支援、安心して医療に掛かることができる本改正は、多くの市民に歓迎される内容であり、本議案に賛成する。



指定管理者の指定について(越谷コミュニティセンター)

本議案は、越谷コミュニティセンターの指定管理者として、公益財団法人越谷市施設管理公社を令和6年4月1日から令和9年3月31日まで指定するにあたり、地方自治法の規定により、提案されました。

議案質疑

問 今後の審議会等の進捗によって指定管理を行う必要がなくなった場合の対応は。

答 指定管理者と締結する基本協定の規定を変更するなどの対応を取ることが考えられる。また、途中解約による影響として、何らかの補償が発生する可能性も考えられる。

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

歳入では、個人市民税や固定資産税などの市税および国県支出金の追加が主なものです。歳出では、障がい福祉などにおける施設サ

ービスをはじめとする各種給付費や、介護保険会計への繰出金のほか、子ども医療給付費や、生活保護扶助費の追加、各種がん検診や予防接種に係る委託料のほか、病院事業会計への負担金、補助金の追加が主なもので、補正予算額は39億1000万円になります。

議案質疑

問 市立病院の経営責任者は越谷市長であるが、病院経営見通しを誤った原因と、その責任の所在は。

答 光熱費高騰や、医師会から要望があったコロナ病棟等があったのも事実であるが、経営状態が良くないことについては危機感を感じており、これを改善すべく取り組んでいく。

反対討論

▷ 市立病院に対する5億円の追加支出が含まれ、地方独立行政法人化等の経営形態の変更など抜本的な見直しや検討が明示されないまま赤字補填と思える負担金は、市立病院の抱える問題の解決にはならず、今後も負担金は増え続けると懸念し、本議案に反対する。

賛成討論

▷ 市立病院については、地域の基幹病院としての役割をしっかりと果たすべく、負担金等の追加はやむをえないと判断し、本議案に賛成する。

令和5年度越谷市病院事業会計補正予算(第1号)について

収入では、新型コロナウイルス感染症の5類移行により県からの関連補助金が減額となった影響などを踏まえ他会計負担金を追加し、支出では、抗がん剤等の高額薬品の使用量増加などによる材料費の追加が主なものです。

委員会提出議案

越谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について

詳しくは、8ページをご覧ください。

令和5年12月定例会

審議結果

◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案(議長を除く)

Table with 6 columns: 議案番号, 付託委員会, 議案名, 議案番号, 付託委員会, 議案名. Lists various council resolutions and their details.

賛否が分かれた議案・請願

Table with 16 columns: 議案番号, 付託委員会, 議案名, and 13 columns for council members (野口, 伊藤, etc.) and 3 columns for results (賛成, 反対, 本会議議決結果).

凡例: ○…賛成 ×…反対 議…議長(議長は採決に加わりません) 退…退席 <<越谷市議会議員 条例定数=32人 現員数=32人>> 会派名の刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、無所属の会は「こしがや無所属の会」、立憲民主党は「立憲民主党越谷市議団」、日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、市民ネットは「越谷市民ネットワーク」、維は「日本維新の会」の略

常任委員会 (部門別)の審査

12月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案27件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務



越谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 現行の健康保険証を継続利用する方への対応は。

答 マイナンバーカードと健康保険証をひも付けしていない方は、健康保険の資格情報書類等を添付していただくことで、これまでどおり対応が可能である。一方、ひも付けしている方は、添付を省略できるようになるため、手続きの利便性向上が図れるものとする。

▶**反対討論** マイナ保険証の登録者は全国で7割程度であるが、実際に利用している国民は5%未満に過ぎず、これは政府の対応への不信、マイナンバーカードの利用を強制する姿勢に対する反発にほかならない。本市においても、市民感情に寄り添い、独自利用の拡大は行うべきではないと考え、反対する。

越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

問 救急隊を増隊することによる効果は。

答 早期に現場に到着し、救急救命処置を開始することができるようになれば、救命率の向上や後遺症の軽減等、救命効果の向上が期待される。また、最近の救急出動件数の増加により、救急車が全て出払ってしまう時間が増えてきたが、この時間については、消防隊員による予備の救急車の運用等の対応をとってきた。このような時間の減少が見込まれるため、消防力の低下を防ぎ、災害への対応力を確保することができると考えている。



救急車

問 市立病院や消防、給食センター等の経営形態を変えるなど、抜本的な組織の在り方についての検討は。また、行政需要のスクラップアンドビルドを徹底したとのことだが、本議案からこれが見えないことに対する見解は。

答 各部局からの定数の要望に基づき、その内容を十分に精査したうえで、今回定数の増員を要望しているものであり、その中でしっかりと精査を行っている。また、具体的なスクラップアンドビルドによって定数を減員できたということではないが、各部局において既存事業の見直し等をしたうえで、要望されたものである。今後、目に見える形でスクラップアンドビルドを実施し、しっかりお示しできるように対応していきたい。

問 市立病院職員11名の増員について、どのように経営改善を進めていくのか。また、今後、具体的な数字を基に経営改善計画を開示する考えは。

答 令和6年度は増員する人件費分以上の収益の増加、また、令和8年度を目途に病院事業会計の収支均衡を目指していく。さらに、(仮称)経営企画課を立ち上げ、運営審議会や越谷市医師会、市議会等に対してしっかりとしたスケジュール等を適宜お示しする。

問 ふるさと納税に対する体制強化を具体的にどのように実施していくつもりか。また、増員による成果の検証等の考えは。

答 越谷商工会議所や越谷市観光協会等の経済団体をはじめ、市内事業者と連携して商品の発掘や新規開発に取り組むことが重要となる。そのために市内事業者への説明会や伴走支援等の実施、ポータルサイト等の戦略的な活用や広告宣伝に取り組むとともに、地域のファン作りを進めることも大切な要素である。また、ふるさと納税については、3年などを目途に増員の成果を検証していきたい。

▶**反対討論** 本市は中核市類似団体と比較すると、人口1万人当たりの全体の職員数も多く、必死に、そして全庁的に行政の効率化、スリム化等の行政改革を行った事実が見受けられない。また、市長が、人口減少は絶対に起こると答弁の中で断言するほど、人口減少自治体となっているにもかかわらず、逆行して職員定数を増やすことについて市民の理解は到底得られないと考え、反対する。

▶**賛成討論** 業務増大に対するやむを得ない最小限の増員が主である。ふるさと納税に関しては、11億円の流出に歯止めをかけるための増員は必要であり、また、市立病院の増員に関しても、過去最大級の経営難から一刻も早く脱却するために経営強化のための増員は必須であると考え、賛成する。

▷ 長期化したコロナ禍は市の財政に大きな影響を与え、燃料価格や物価高騰等も影響に拍車をかけており、このような社会経済環境、そして厳しい財政状況下においても着実にまちづくりを進め、歩みを止めることはできない。市民にとって真に必要な行政サービスを安定的に提供するため、執行体制の整備を図ることは重要であると考え、賛成する。

・越谷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

・市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

・越谷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

・越谷市常勤監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

※4議案一括質疑

問 改正による年間支給額は。また、今回の引き上げに伴う市民感情に対する考え方は。

答 市議会議員は6万9000円増の年間310万5000円。市長は12万6120円増の567万5400円。副市長は10万5

840円増の476万2800円。教育長は9万3840円増の422万2800円。常勤監査委員は6万7200円増の302万4000円となる。市民に対して丁寧に説明するとともに、職員一丸となって職務に精励することで理解いただけるよう努めていく。

▶**反対討論** 人事院勧告と切り離すことができる特別職の報酬を引き上げることは市民には到底理解されないと考え、本議案および第98号議案から第100号議案も含め、反対する。

▷ 社会一般的に高額な給与が支給されている特別職の期末手当を引き上げることは多くの市民の納得が得られず、近隣でも引き上げを行わない自治体がある。特別職が一般職を束ねる立場にあるなどの理由は、市民に理解は得られないと考え、本議案および第98号議案から第100号議案も含め、反対する。

民生



越谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

問 保険税額が最も高くなる世帯の構成および金額の見込みは。また、人数の多い世帯に対する負担増への考え方は。

答 40歳代夫婦と子ども1人の3人世帯の負担が最も大きく、年間5900円増加する。県の国保運営方針では、令和9年度に県内の保険税水準統一を目標としており、本市も赤字解消を目指している。また、低所得世帯は均等割の軽減措置が、高所得世帯に課税限度額の制度があるため、相対的に中間所得世帯の負担が大きくなっているが、他団体より所得割率が高い状況等を踏まえ、今回の改定案とした。なお、人数の多い世帯には、低所得世帯への均等割軽減だけではなく、未就学児の均等割の軽減のほか、本市独自の取り組みとして第3子以降の均等割を減免している。

▶**反対討論** 県が令和9年度の保険税率統一を掲げているため、国保税の値上げが続いている。市民の暮らしの実態を無視しているようにしか感じられない。国、県の方針で仕方がないなどという言い訳では、市民の納得を得られないと考えるため、反対する。

環境経済・建設



指定管理者の指定について(越谷総合公園)

問 越谷総合公園を指定管理とする理由は。また、今後の公園内行為に係る使用料の取り扱いは。

答 公園の特色を生かした自主事業を展開し魅力を発信すること、また、常駐により苦情や施設の損害等へ迅速に対応することが可能となる。現在使用料を徴収する行為は行われていないが、維持管理経費の収入源となることなどから、他市の取り組み状況を参考にし、使用料の取り扱いについて検討したい。



総合体育館周辺の公園

子ども・教育

越谷市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 嘱託医である学校医の確保について、困難が生じていると伺っているが、今回の報酬改定による効果は。また、学校医と学校薬剤師のそれぞれの配置状況は。

答 現行の報酬の低さが学校医を希望しない要因の一つとして考えられるため、今回の報酬改定により、学校医確保の契機になると考えている。配置については、内科医、眼科医、耳鼻科医、整形外科医、学校歯科医、学校薬剤師を市内の全小中学校に配置している。

越谷市こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 こども医療費の支給対象を18歳まで拡大した場合の効果は。また、市の財政負担の見込みは。

答 受診控えによる重症化防止や、子育て世帯の経済的負担の軽減などの効果があると考えている。市の財政負担は、他市の情報や埼玉県補助対象が拡大された場合を想定すると、5000万円ほど増加する見込みである。

指定管理者の指定について(越谷コミュニティセンター)

問 指定管理期間中に途中解約した場合の影響は。また、途中解約についての協定書への記載は。


答 指定管理者が3年間の指定期間を見越して人員や資機材等を確保していることが考えられるため、途中解約により損害を与えた場合には、補償が発生する可能性がある。協定書には内容に変更が生じたとき、または特別な事情が生じたときには、双方協議のうえ内容を変更できるという規定を設けている。

▶**反対討論** 越谷サンシティ整備事業の在り方が定まっていない現在の状況では、指定管理期間を3年とすることは、今後、市民中心に議論される越谷サンシティ整備事業へも影響を与えてしまう可能性があるため、施設管理の期間については、単年とした方が合理的かつ安全性の高い施設運用が可能になると考え、本議案に反対する。

予算決算委員会 常任委員会の審査

12月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案6件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。



総務分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

「内部事務システム電算委託料および福祉

システム電算委託料の追加についての具体的な内容」および、「共同消防指令センター建設工事費の追加についての詳細」などに関する質疑がありました。

民生分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

問 がん検診受診者の増加の要因は。また、肺がん検診の新たな取り組みによる受診率の変化は。さらに、新たな取り組みを他のがん検診に拡充する考えは。

答 コロナ禍により受診率が下がっていたが、今年度は、コロナ禍前の水準に近い状態まで上昇している。新型コロナウイルス感染症の位置付けの変更が要因の一つであると考えられる。また、肺がん検診の新たな取り組みとして、今年度から検診実施期間の延長と自己負担額の減額を実施している。この取り組みにより、コロナ禍前を上回る受診率まで上昇しており、約16.7%まで上昇できる見込みである。各がん検診のさらなる受診率向上のために、肺がん検診以外についても、検診実施期間の延長やナッジ理論の活用に取り組んでいきたい。



問 病院事業会計負担金の内容および算出根拠は。また、当該負担金が支出されなかった場合の病院事業会計に与える影響は。さらに、今後の考え方は。

答 今年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる補助金等が大幅減となり、収入減少だけでなく、エネルギー価格や人件費などの高騰により、支出が大幅に増加したため、厳しい経営状況となっている。このことから、繰出基準の限度まで増額し、病院事業会計に、5億円を繰り出すものである。仮に支出金が繰り出されなかった場合、病院経営が成り立たなくなるような厳しい状況になる。そのため、長期借入金等の制度利用についても検討せざるを得ないと考えている。今後の考え方であるが、当病院の抱える課題に対し、事務部の体制強化が必要であると考えている。今後も市立病院全体として、医師や看護師と協議を行いながら、経営改善に努めていきたい。

令和5年度越谷市病院事業会計補正予算(第1号)について

問 一般会計からの繰入の内容および充当先は。また、繰り入れされなかった場合、長期借入の可能性は。

答 一般会計から、国庫支出金を財源とする病院事業会計補助金として1億6000万円が、また、一般財源から病院事業会計負担金として5億円が繰り出される内容となっている。繰り入れされた場合の収入は、人件費や光熱水費に充てるほか、手術室の空調工事などに充当することとなる。また、繰り入れされなかった場合に長期借入の制度を活用することに関しては、指定金融機関と相談することとなるが、これまで前例はない。

環境経済・建設分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

問 ごみ収集車両に係る修繕料の内容は。

答 本年8月に車両のエンジン故障に伴い、エンジンの取り換え修繕を行ったことにより不足が生じたものである。なお、車両を買い換える場合は、新しい車両が届くまで約1年間を要することから、収集業務への影響を鑑み、エンジン取り換への対応とした。なお、当該修繕において、自動車保険の利用は不可能であった。

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第7号)について

問 一般貨物自動車運送事業燃料価格高騰対策支援金の令和4年度の効果は。また、一般貨物自動車運送事業者に対し支援が必要な理由は。

答 アンケート調査によると、99%の事業者から、当該補助金が事業継続や車両の維持などに役立ったとの回答を得ている。また当該事業者は、市民生活や産業活動を支える物流サービスの担い手であること、トラック業界においては、原油価格や物価高騰が経営を大きく圧迫することなどから、支援を行うものである。

子ども・教育分科会

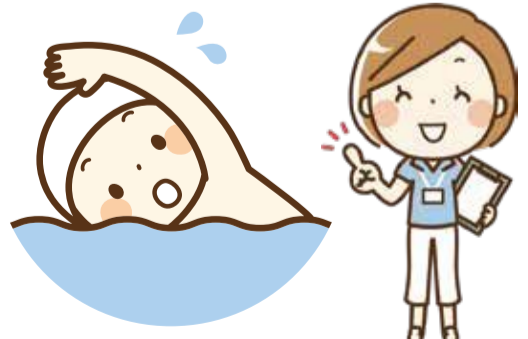
令和5年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

問 小規模保育事業所設置促進事業費補助金について、減額補正の背景は。また、選定基準や募集方法は。


答 本事業費は待機児童の解消に向けて当初予算を計上し、事業所を整備する予定で事務を進めてきたが、募集の結果、選定基準を満たす業者がいなかったため、今年度は全額未執行となった。選定基準は、毎年度作成する募集要項の中で、法人の体制や保育事業の実績、近隣住民への説明等の項目を設けており、募集は市のホームページ等で行っている。

問 水泳授業の委託について、授業の進め方や他の学校との違いは。また、見学を希望する児童への対応は。

答 あくまでも学校の水泳授業を民間のプールを借りて行うものであるため、指導は主として教員が行う。それに加えてインストラクターが入ること、よりきめ細かな指導が実現できる。内容は学習指導要領に沿って実施するため、他の学校との差はない。見学を希望する児童は、学校で行う水泳授業と同様、プールに行き、見学しながら学ぶことになる。



各議案の概要は右記QRコードからご覧いただけます。



市政に対する 一般質問

12月定例会では21人の議員が市政全般について質問を行いました。
※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



文化芸術歴史によるまちの魅力づくりについて



こしがや無所属の会 菊地 貴光 議員

問 文化芸術は、市民生活に豊かさや潤いをもたらすと同時に、人々のつながりを生み出し、にぎわいやアメニティを醸し出して都市の「顔」を作る。そこで越谷に固有の唯一無二のアイデンティティを作り、魅力創出、まちづくりを進めていく考えは。
市長 文化芸術歴史はさまざまな点に寄与すると考えている。固有の貴重な地域資源を積極的にPRするとともに、参加や接する機会の充実に努めていきたい。



しらこぼと運動公園庭球場の整備について



越谷刷新クラブ 野口 高明 議員

問 裂け目や穴が空いている状況などが2年以上続く。非常に危険であり、早急に対策をするべきと考えるが、市の考えは。
教育長 土日稼働率は99%で、本市庭球場の中で一番利用されている施設。設置から30年以上が経過し、損傷箇所が多く、改修が必要な施設。整備費は概算で8000万円を超えるが、助成金等を有効に活用し、市の財政負担軽減を図りつつ、市長部局と協議しながら改修していきたい。



千間台駅西口線の進捗状況について



公明党越谷市議団 藤部 徳治 議員

問 千間台駅西口線の無電柱化事業は、既に予備設計に入り、本来であれば合意形成が図られていると考える。住民との合意形成ならびに現在の進捗状況は。
市長 今回の予備設計では、地元自治会や商店会の代表の方々に対し、事業の進め方等についてご案内させていただいた。今年度中には、地元の皆さまに整備手法案や概略スケジュール案等の検討内容をご説明し、ご意見等を伺う予定となっている。



市内医療機関の移転に伴う市民への影響について



日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 赤山町の十全病院、元柳田町の新越谷病院の移転予定について、市民から不安の声があがっているが今後の対応は。
市長 十全病院については、医師会を通じ近隣の医療機関に対して患者の受け入れ等に対する依頼など対策を行っている。新越谷病院については、移転後も同病院で受診できるよう送迎バスの運行を行うべく協議、検討中と伺っており、移転による影響を少なくする。



越谷市内における病児保育施設について



自由民主党越谷市議団 横井 聖美 議員

問 病児保育施設の利用方法改善に向けた取り組みの進捗状況は。
市長 来年度導入予定の予約システムの主な仕様を決定した。令和6年4月1日に施行される改正地方自治法を活用し、利用料の現金払いの導入を積極的に進める。令和6年1月より実施する子育て支援ニーズ調査にて病児保育室の利用状況や利用希望を確認し、増設を検討する。また、保険証等の写しの用意が要らない方法を検討する。



高齢者の健康づくりに関する取り組みについて



自由民主党越谷市議団 小林 豊代子 議員

問 高齢者人口が増加しているなか、地域の身近な場所で介護予防活動に取り組めることが重要と感じるが、市の考えは。
市長 地域で介護予防に取り組む方々からの依頼により、歯科医師会や薬剤師会などの協力のもと、専門職の方が講師となって、積極的に出張講座を開催している。今後も地域の身近な場所で楽しみながら、継続して介護予防に取り組めるよう、支援の充実に努めていく。



耕作放棄地への対策について



越谷市民ネットワーク 清水 泉 議員

問 高齢化、後継者不足で耕作放棄地は増えている。農業を続けたいと思っても農業機械の購入において諦めてしまう農業者もいる。農業は辞めたが機械は持っている方などの農業機械の貸し出しや共同利用の仕組み作りについてどのように考えるか。
市長 現状では多くの人が自己所有の農業機械で、作業時期が重なる等課題はある。農業機械の貸し出しや地域での共同利用の仕組みづくりについて調査研究していく。



本市の将来人口の見通しと目指す人口維持のための施策の進展について



こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 本市人口はレイクタウン効果があり2021年4月まで増え、その後減少に転じている。2060年に26万300人と予想する人口見通しと人口維持施策の進展は。
市長 事業所の従業者数や婚姻率、合計特殊出生率等の数値目標を定め、取り組んでいるが厳しい状況にある。子育て支援や市の魅力を高めるなど総合戦略で掲げた施策を着実に進め、人口流出の抑制と流入促進をしていきたい。



想定外の大雪が降った場合の対策について



越谷刷新クラブ 浅古 高志 議員

問 災害対応にはあらゆる想定を行い、対策を検討しておく必要があると考えるが、想定外の積雪があった場合の対策は。
市長 想定外の大雪への対応について、市民に対し、注意喚起を市ホームページ、SNS、防災行政無線などを活用して情報提供を行う。車両の立ち往生なども想定されることから、NPO法人全日本レッカー協会と災害時における車両移動等の協力に関する協定を締結し、対策強化を図っている。



公園の利用について



こしがや無所属の会 斎藤 豪人 議員

問 公園は誰もが自由に遊んだり運動したり健康づくりや仲間との触れ合いの場だがボール遊びが禁止の公園が数多くある。ボール遊びを危険な遊びととらえ、禁止にすることは、子どもたちが自由に遊ぶ権利を奪う事にもつながる。公園利用の緩和やそれに伴う物理的な整備、公園個別の規制などについての考えは。
市長 利用制限の緩和について検討する。



公園の案内看板(危ない遊びの禁止)



ソーラーシェアリングで農業の収益を確保することへの支援について



日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 再エネ促進と収益確保のため農家へソーラーシェアリング導入支援を行う考えは。
市長 農地の上部空間に太陽光発電設備を設置し、営農を継続しながら発電し、作物販売収入に加え、売電による継続的な収入により農業経営の改善が期待される。現在市では、事業者用ゼロカーボン推進補助金による支援を行っている。農業者へ制度の周知、相談対応や申請手続きのサポート、先進事例の情報提供等に努めていく。

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



Q 公園トイレの清掃状況について



越谷市民ネットワーク **山田 裕子** 議員

問 清掃が行き届いていない公園内トイレについて、清掃回数を増やす・清掃方法を改善するなど、改善に向けた考えは。

市長 公園内トイレ清掃は、公益社団法人越谷市シルバー人材センターに業務委託し便器、床の清掃、ごみの回収などを原則週3回行っている。利用頻度が高いトイレは清掃回数を増やすなど利用者の声も反映し実施している。今後も引き続き、清潔なトイレ環境を維持できるよう努めていく。

Q 市立病院の経営健全化について



越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

問 国産初手術支援ロボット「ヒノトリ」は市が導入を見送るコストやサイズ等の課題をクリアしているが、導入する考えは。

市長 私自身が医者ではないので、日本製のもの現場に耐えられるのか判断できないが、総合的に判断し検討していきたい。
問 駅と市内の医療機関と市立病院を結ぶ無料の医療機関巡回バス導入は、地域医療連携の観点からも有効と考えるが見解は。
市長 先進事例等を含め調査研究する。

Q 農業について



自由民主党越谷市議団 **金井 直樹** 議員

問 本市の農業は、後継者不足や農地集積ができていないなどの課題がある。このような状況で、稲作から高品質な農産物をつくる農業にシフトできるのか。

市長 稲作からイチゴなどの栽培に変えることは基本的にできると思うが、資本などの問題がある。稲作農家へは物価高騰に対する支援などをしていく。後継者の育成や農地の集積をどう進めるかについても考えていきたい。

Q SNSアプリを活用した自治会活動のコミュニケーションサービスについて



公明党越谷市議団 **瀬賀 恭子** 議員

問 地域で重要な役割を果たしている自治会は深刻な担い手不足に直面し、役員の高齢化、核家族化や共働き世帯の増加等、環境が変化している。自治会の存続には運営の簡素化を図るデジタル化を進めていくことが必要であると考えますが、市の考えは。

市長 SNSなどを活用して情報共有などを行っている事例を各自治会へ紹介し、自治会連合会と連携しながら、SNS等の活用方法や他市の先進事例を調査研究する。

Q 補聴器購入助成の現状と課題について



日本共産党越谷市議団 **山田 大助** 議員

問 補聴器は購入後に「聞こえ」の調整をする必要があるが、課題の一つとして、適切に調整していない利用者が少なくないことがある。周知や費用負担などの考えは。

市長 相談や受付窓口はもちろん、販売店等にも協力をお願いし、「聞こえ」の重要性や助成制度の周知とあわせて、調整の必要性についても周知したい。聞いた限りでは1~2年の保証期間内は、調整も無料で自己負担なく行えると認識している。

Q 越谷ふるさと米の活用について



越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

問 JA越谷市、越谷市、生産者、NPOが連携して取り組む減農薬で化学肥料・除草剤不使用の環境にやさしい「越谷ふるさと米」の給食利用の進捗状況は。

市長 市内全18カ所の公立保育所で、12月中に5回程度、限定的に越谷ふるさと米を活用する。地域で循環する持続可能な農業の実現に向けて、今後もJA越谷市と連携、協力し、地場農産物の利用促進に取り組む。

Q 住みやすいまちづくりについて



公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

問 防犯灯を設置する考えは。

市長 市では、防犯灯設置の計画はないが、他自治体の取り組み事例や効果を検証し、防犯の視点を持ったまちづくりについて調査検討を進める。

問 高齢者等への買い物支援に対する考えは。

市長 地域住民の買い物支援に対するニーズの把握に努めると共に、買い物支援の効果的な手法について、調査研究していく。



市民の安心安全を見守る道路照明灯

Q 小中学校での交通安全教育について



立憲民主党越谷市議団 **小口 高寛** 議員

問 タブレット端末を使用した交通安全教育への取り組みは。

教育長 道路標識の調べ学習等や交通指導員の指導をタブレット端末で撮影し、振り返り学習をしている学校もある。自分の命は自分で守る意識の下、児童生徒が自ら危険を予測し、回避する能力が身につけるようタブレット端末等を積極的、効果的な活用について、校長会や教頭会等さまざまな機会でも周知して行く。

Q 市内全小中学校の特別教室へのエアコン設置について



自由民主党越谷市議団 **伊藤 治** 議員

問 小中学校の特別教室へのエアコン設置率は草加市が約96%、続いて吉川市、八潮市、三郷市となっている。本市は、近隣市で一番低い約55%の設置率であるが、設置率向上の考えは。

市長 近年の猛暑日の増加などにより「授業を快適に実施することが困難になっている」との声が寄せられている。特別教室のエアコン設置の方向性について今後検討を進めていく。

Q ペットの同行避難・同伴避難の考え方について



自由民主党越谷市議団 **立澤 貴明** 議員

問 他自治体では、ペットの屋内受け入れが可能な例もあるが本市の考え方は。

市長 本市としても、同伴避難の必要性については十分認識している。ペットの同伴避難の際には、飼い主にゲージを持参していただくことなど、一定のルールを改めて周知するとともに、関係団体等の意見を伺いながら屋内同室でのペットとの同伴避難について検討していく。



屋内ですらぐペット(イメージ)

こしがや市議会からの

お知らせ

議会人事

令和5年12月定例会において、以下の議会議員の任期満了に伴い、次の方を選出しました。

埼玉県都市ポートレース企業団議会議員
島田 玲子

1月臨時会について

令和6年1月臨時会を1月31日に開催しました。

議案の内容や議決結果など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

3月定例会の開催予定

令和6年3月定例会は、2月26日(月)から3月18日(月)までの22日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)

傍聴して一言

本定例会では、63人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

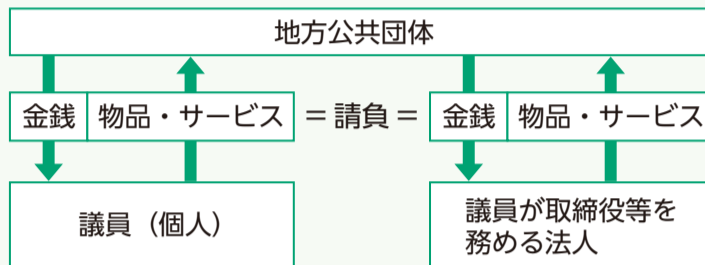
- 一般論だけでなく、具体的な事業、実践例、市民への調査結果報告などが市側、議員側両方から紹介されて良かった。こうしたリアルな情報をもっと知りたいと思った。
- 市民としていろいろな話が聞けて良かった。中1の息子と来たが、良い体験が出来た。
- 傍聴されていた人が数名で少々残念だった。
- 広範囲にわたる施策に市が取り組んでいることを確認できた。

越谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例が制定されました

近年、一部の自治体において議員のなり手不足が生じています。こうした問題等に対応するため、地方自治法が改正され、これまで禁止されていた市に対する議員個人の請負について、各会計年度において支払いを受ける請負の対価の総額が政令で定める額を超えない者は規制の対象外とされました。そこで、越谷市議会では議員の職務執行の公正、適正を損なわないよう、請負状況の透明性を確保するため、越谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定しました。

地方自治法改正の概要

《改正前》



全面的に禁止

請負が業務の主要部分を占める法人に限り禁止

《改正後》

- ・請負の定義の明確化
- ・議会の適正な運営を確保する観点から政令で定める額(300万円)の範囲内で個人による地方公共団体に対する請負が可能

条例の主な内容

- ①議員は、毎年6月1日から同月30日までの間に、前会計年度における市に対する請負の状況を議長に報告しなければならない。
- ②議長は、報告の一覧を作成し、公表しなければならない。
- ③何人も、議長に対し、報告等の閲覧または写しの交付を請求することができる。

請負状況の公表

今後、議員から報告があった請負状況を市議会ホームページなどで公表していきます。
※本条例は令和5年度における請負から適用されるため、公表は令和6年度からになります。

越谷市選挙管理委員会委員および補充員の選挙の結果、次の方々が当選されました

委員	栗原 雅太郎 氏(大竹)	鈴木 章 氏(大成町)
	高梨 佳樹 氏(西新井)	馬場 峻由鯉 氏(越ヶ谷)
補充員	井上 操 氏(平方)	島村 稔 氏(新川町)
	會田 隆広 氏(東越谷)	坂崎 洋祐 氏(蒲生)

あなたが撮影した写真を表紙に掲載します!

表紙写真募集



令和6年5月1日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和6年(2024年)4月11日(木)まで

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局(本庁舎7階)まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者(撮影者)の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

編集後記

令和5年12月定例会では、21人の議員が一般質問するなど、それぞれの立場で市民の皆さまの声を市政に届けております。

これから市は、令和6年度の予算編成を行っていきますが、それぞれの議員の立場でより良い市政へ向けて、要望してまいります。令和6年が市民の皆さまにとりまして素晴らしい年となるよう、全力で頑張る決意です。

広報・図書室協議会委員
工藤 秀次